## 2024年度(令和6年度)

# 学校評価 (自己評価)

札幌三育幼稚園

## 自己評価 ——教職員——

Ι

### 保育の計画性

- ・園の教育理念・教育方針の理解
- 幼稚園教育要領の理解
- 教育課程の編成
- 指導計画の作成
- ・環境の構成
- ・保育と計画の評価、反省

### 保育の計画性でよく出来ていると思ったこと

- ・園の教育理念や教育方針に共感し理解している。
- ・園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできている。
- 園の方針を施行計画や保育に生かそうとしている。
- ・異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている。
- ・特別な支援が必要な園児への対応を共有し、それぞれの状態に合わせて環境を構成した。
- ・指導計画書に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成をする。

## 保育の計画性でこれからの課題と思ったこと

- ・園の方針、園長の考え、幼稚園教育要領について園長や教職員と話し合う。
- ・指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成する。

## Ⅱ 保育の在り方、 幼児への対応

- ・健康と安全への配慮
- ・幼児の見とりと理解
- 指導とかかわり
- ・保育者同士の協力、連携

## 保育の在り方、幼児への対応でよくできていると思ったこと

- 体調が悪そうなときは、適切な処置を行いすぐに家庭への連絡。
- ・清掃や換気、採光、室温調整、特に夏の暑さ対策への取組み。
- ・幼児の言葉にならない思いやサインを受け止め、ありのままの姿を受け入れる。
- 幼児とのスキンシップをとるようにしている。
- ・クラスに関係なくその場にいた教師が適切な言葉がけや対応をしている。
- ・幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年を超えて情報を共有している。
- ・幼児の理解のために家庭での生活を踏まえ、保護者と話し合う。
- ・バスに置き去り防止装置を設置し、登降園の確認、出欠席の確認を徹底した。
- ・規則性のある運動あそびを行い、体幹を鍛えつつ感覚統合を促した。

#### 保育のあり方、幼児への対応でこれからの課題と思ったこと

- ・危険が予想される場所について、幼児たちと共有し危険性について理解してもらう事。
- ・園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方をしていないか確認する。

## Ⅲ 保育者としての 資質と能力・良識・適正

- ・専門家としての能力、良識、義務
- ・組織の一員としてのありかた
- ・保育の楽しみ、喜び
- ・まわりを感じ取れる感性、アンテナ

### 保育者としての資質や能力でよく出来ていると思ったこと

- ・園の重要書類を持ち出さない。
- ・自らの健康にも配慮し、保育をする上での安全にも気を付けている。
- ・幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私物化しない。
- ・上司や先輩に対しては敬語を使い、教職員のプライバシーについて他に漏らしたりしていない。
- ・配慮を要する幼児が望ましい方向へと変容していく過程に喜びを感じる。
- ・自然に対する感性を持ち、命の尊さを感じている。
- ・幼児に体罰を加えることはどのような場合でもしていない。
- ・日々の活動や行事において、新たな内容や工夫を積極的に取り入れ、園児の興味関心を高める 取り組みを行う

### 保育者としての資質や能力でこれから課題と思ったこと

・様々な事に興味を持ち、視野を広げる。

## Ⅳ 保護者への対応

- 情報の発信と受信
- ・協力と支援
- ・ 守秘義務の順守
- ・対応上のマナー、良識
- クレームへの対応のしかた

## 保護者への対応でよく出来ていると思ったこと

- ・保護者からの要望、意見については安易に受けたり断らず、園長や主任に報告や相談をしている。
- ・保護者、家族の情報、個々の子どもの情報は口外していない。
- ・保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従っている。
- ・園のすべての保護者に対し、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている。
- ・保護者や子どもの性差、障害、個性差などによって区別、差別していない。
- ・園からの発信は、保育アプリや SNS で短い動画を活用し伝えた。

## 保護者への対応でこれからの課題と思ったこと

- ・担任から保護者へ発信する回数が少なかった。
- ・こまめに情報を伝えていた場合でも、理解してもらえないことがあった。 伝え方の工夫が必要だと感じる。

#### V

## 地域の自然や社会との かかわり

- ・地域自然、人々との関わり
- ・小学校との連携
- ・地域への開放と支援

#### 地域の自然や社会とのかかわりでよく出来ていると思ったこと

- ・公園散策に出かけお花見をしたり、ドングリを収集するなど季節を感じる活動をおこなった。
- ・未就園児親子教室や園庭開放を実施し子育て支援を行いつつ、地域の子どもや保護者と交流を持つ。
- ・近隣小学校との繋がりを持ち、交流会の計画をした(臨時休園のため参加はできなかった)。

## 地域の自然や社会とのかかわりでこれからの課題と思うこと

- ・地域とのかかわりがあまりないため、地域の自然や機関についてマップを作成するなど利用しやすい工夫をする。
- ・地域の小学校の行事や公開授業に関心を持つ。
- ・地域の公共施設への園外保育の計画と実施。

## Ⅵ 研修と研究

- ・研修・研究への意欲、態度
- ・教師としての専門性に関する研修、研究
- ・遊具・教材に関する研修、研究
- 園内の環境に関する研修、研究
- ・今日的課題に関する研修、研究
- 自らを高めるための学習

## 研修と研究でよく出来ていると思ったこと

- ・主体的な保育を行なうための環境設定について学び、実践した。
- ・保育者間で意見を出し合って、より良い保育ができるように心掛ける。
- ・園内研修をし、保育の質を高める事ができた。
- ・オンラインセミナーを活用し園内研修を行った。
- ・札私幼北区研修会(防災)を担当し、実施参加した。
- 新採用者研修への参加。
- ・特別支援担当者研修への参加。

## 研修と研究でこれからの課題と思ったこと

・教師としての専門性に関する研修・研究を積極的にうけ、保育に生かす。